

4. 食事（外食・欠食）状況

昼食の外食率は、20～40歳代の男性で3人に2人、20歳代女性で2人に1人

昼食の外食率は、図23のとおり、男性では20～40歳代で3人に2人が昼食を外食で済ませている。女性は20歳代で2人に1人が、30歳代では3人に1人が外食している。

外食率（朝、昼、夕食の全体）を年次推移で見ると、表3に示すとおり、男性では30～50歳代で増加が大きくなっている。

図23 昼食の外食率（性・年齢階級別）

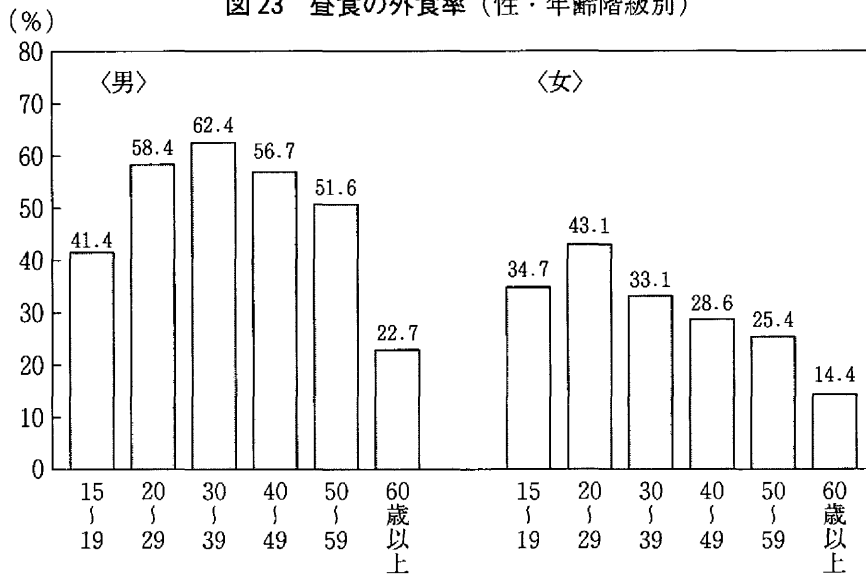


図24 外食率の年次推移（性別）

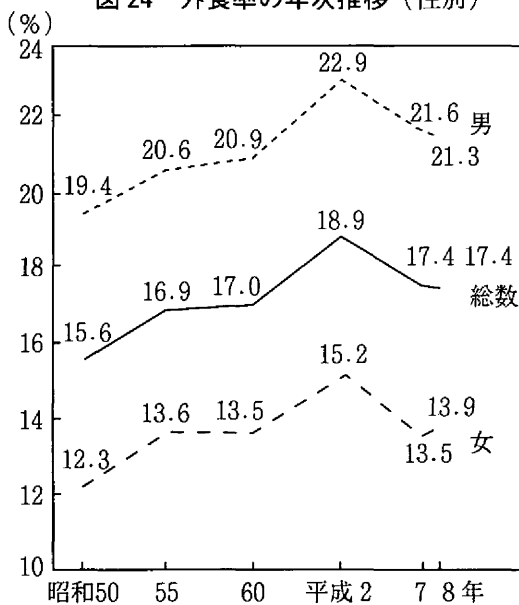


表3 外食率の年次推移（性・年齢階級別） (%)

		昭和50年	55年	60年	平成2年	7年	8年
男	15～19歳	15.6	16.7	15.1	17.7	15.7	17.5
	20～29	25.2	27.3	26.2	30.3	27.8	28.1
	30～39	22.5	26.0	25.9	29.1	27.7	28.8
	40～49	19.4	20.6	24.2	26.5	25.4	25.3
	50～59	15.5	16.8	18.0	21.6	21.1	21.8
	60歳以上	8.1	8.0	8.0	10.2	8.9	9.3
女	15～19歳	13.4	15.7	13.8	16.7	13.9	15.4
	20～29	14.5	17.4	17.5	21.2	19.2	20.5
	30～39	9.2	11.3	12.0	14.1	13.5	13.9
	40～49	8.9	10.2	11.3	14.1	12.5	11.6
	50～59	8.5	8.6	9.0	11.7	10.5	11.3
	60歳以上	5.0	5.6	5.5	6.8	5.1	6.1

朝食の欠食率は20歳代で男性の4人に1人、女性の6人に1人と高率

性・年齢階級別に朝食の欠食率を示したのが図25である。男女とも20歳代で最も欠食率が高く、男性では28.4%、女性では15.4%を占める。

年次推移をみると、図26のとおり、昭和50年に6.3%であったものが平成8年では7.9%となり、特に男性では平成8年で10.8%を示している。表4が示すとおり、男性では20～40歳代の増加が大きい。

図25 朝食の欠食率（性・年齢階級別）

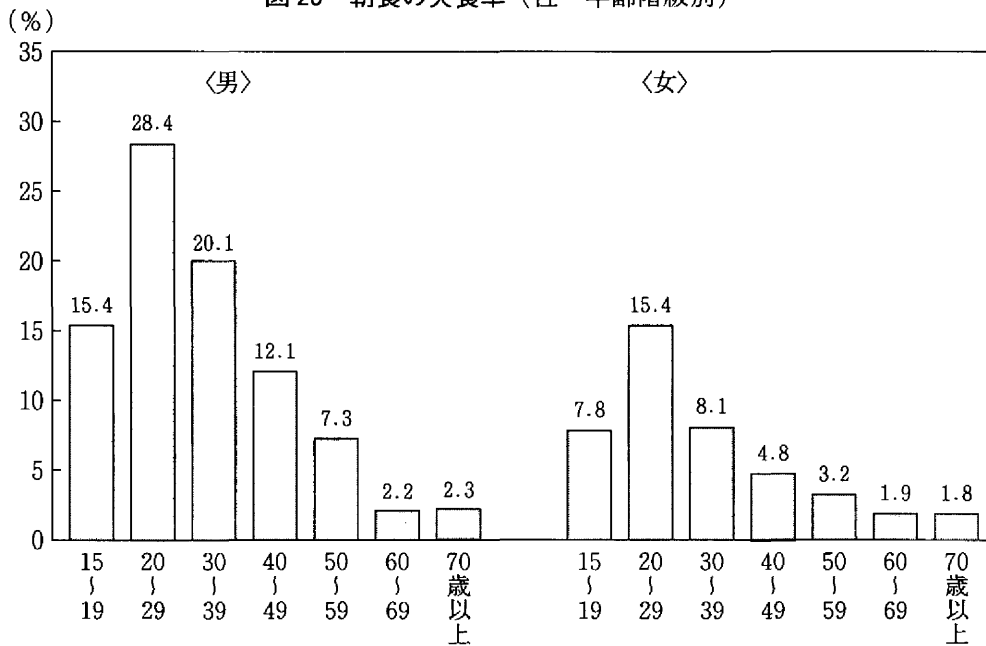


図26 朝食の欠食率の年次推移（性別）

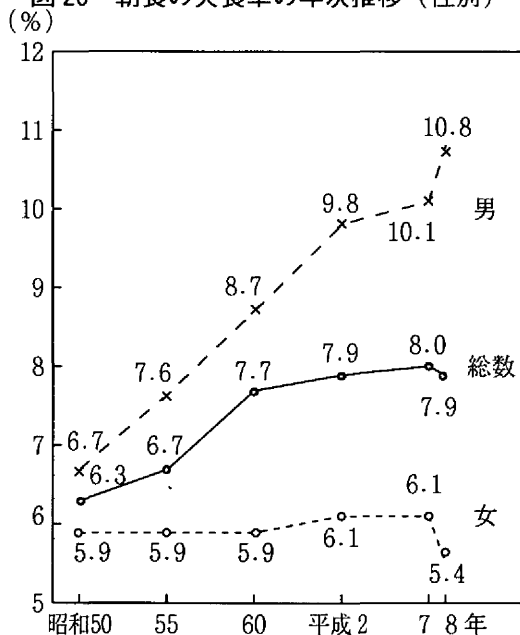


表4 朝食の欠食率の年次推移（性・年齢階級別） (%)

		昭和50年	55年	60年	平成2年	7年	8年
男	15～19歳	10.7	12.7	10.3	14.1	13.4	15.4
	20～29	15.5	19.5	23.5	25.5	30.8	28.4
	30～39	8.5	11.6	13.8	17.8	16.6	20.1
	40～49	4.9	6.6	8.7	11.1	11.6	12.1
	50～59	4.6	4.6	6.1	6.5	5.1	7.3
	60歳以上	3.4	2.8	3.5	2.0	1.7	2.2
	女	15～19歳	14.1	8.3	13.1	10.1	8.9
20～29		11.7	12.9	14.7	14.3	18.2	15.4
30～39		5.3	8.1	6.4	6.5	5.6	8.1
40～49		5.8	5.7	6.7	7.5	6.1	4.8
50～59		4.5	4.3	5.3	5.1	4.0	3.2
60歳以上		4.1	3.1	3.4	2.8	2.5	1.8